

## GHG 排出量削減目標 SBT 認定<sup>(※1)</sup>を取得

～国内鉄鋼メーカーとして初<sup>(※2)</sup>の認定～

山陽特殊製鋼株式会社(代表取締役社長 宮本 勝弘、本社 兵庫県姫路市)は、2030年度までのGHG<sup>(※3)</sup>排出量削減目標について、産業革命前からの気温上昇を1.5°Cに抑えるための科学的根拠に基づいたものであると評価され、国際的なイニシアチブである「Science Based Targets initiative (SBTi)<sup>(※4)</sup>」より、2025年1月21日に国内鉄鋼メーカーとして初めてSBT認定されました。

当社グループは、気候変動をはじめとする地球環境の問題が人類の存続に影響を与える重要な課題であるとの認識のもと、持続可能な社会の実現に向けた取り組みと適正な情報開示を積極的に推進してまいりました。引き続き、エコプロセスの推進、グリーンエネルギーの活用を一層強化するとともに、サプライチェーンの皆様と協力しながら、SBT認定を取得したGHG排出量削減目標を達成するための取り組みを一層強化してまいります。

(※1) Science Based Target の略称。「パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガス排出量削減を目指す、国際的な削減目標」のことであり、5～10年先の目標を設定するもの。「パリ協定が求める水準」とは、「世界の気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回る水準に抑え、さらに1.5°Cに抑える努力をすること」をさす。

(※2) 中小企業向けSBT認定取得企業を除く。

(※3) Greenhouse Gas の略称。地球温暖化の原因となる温室効果ガスである、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)、パーフルオロカーボン類(PFCs)、六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)、三フッ化窒素(NF<sub>3</sub>)の7種類をさす

(※4) CDP、世界資源研究所(WRI)、国連グローバル・コンパクト(UNGC)、世界自然保護基金(WWF)により運営され、企業のSBTを認定する共同イニシアチブ。

### ■当社グループのGHG排出量削減目標

	目 標 (連結)
Scope1+2	2030年度までに、2021年度比△42%削減
Scope3	2030年度までに、2021年度比△25%削減

Scope1：事業者自らによるGHGの直接排出

Scope2：他社で生産されたエネルギーの使用に伴う間接排出

Scope3：自社のサプライチェーンに相当するその他の間接排出

### ■SBTロゴマーク



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION